

精神疾患とその治療

問題 1 精神疾患の診断分類と発症要因に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 統合失調症は、心因性精神障害に分類される。
- 2 双極性感情障害(躁うつ病)は、神経症の一類型と考えられる。
- 3 症状性精神障害とは、脳の器質の変化によって生じる精神障害をいう。
- 4 精神疾患の発症について、「脆弱性-ストレスモデル」が提唱されている。
- 5 DSM-5は、WHOが作成した診断基準である。

問題 2 うつ病に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 妄想を生じることがある。
- 2 興味や喜びの喪失がみられる。
- 3 確定診断には、脳波検査が必要である。
- 4 精神療法では、精神分析が最も有効である。
- 5 治療薬として、ベンゾジアゼピン系薬剤が第一選択である。

問題 3 統合失調症に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 幻覚をしばしば認める。
- 2 見当識障害がある。
- 3 意識障害がある。
- 4 血液検査で診断できる。
- 5 ICD-10によれば、F3群に分類される。

問題 4 状態像と症状に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 躁状態では、自分のものではない考えが勝手に浮かんでくる。
- 2 心気状態では、外界に対する現実感が喪失する。
- 3 恐怖状態では、特定の対象や状況へのおそれが生じる。
- 4 解離状態では、感情が平板化し活動性が低下する。
- 5 緊張病状態では、ある姿勢をさせるとその姿勢を保ち続けることがある。

問題 5 統合失調症のAさん(19歳、男性)は、外来受診の際に、「今朝、通りがかった犬がこちらを向いて前足を上げた。1億円の宝くじが当たった」と訴えた。

次のうち、Aさんの発言から考えられる症状として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 被害妄想
- 2 誇大妄想
- 3 妄想気分
- 4 妄想着想
- 5 妄想知覚

問題 6 次のうち、頭部CT検査の異常所見が診断に役立つ疾患として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 統合失調症
- 2 パニック障害
- 3 正常圧水頭症
- 4 身体表現性障害
- 5 双極性感情障害(躁うつ病)

問題 7 統合失調症に対する抗精神病薬による治療に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 幻覚・妄想より認知機能障害に有効である。
- 2 高齢者に対しては、若年者より投与量を増やす。
- 3 症状寛解後も長期にわたる服薬を要する。
- 4 薬剤選択に当たっては、糖尿病の合併を考慮する。
- 5 多剤併用を基本とする。

問題 8 心理教育に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 訓練を通じて、生活技能を向上させる。
- 2 認知のあり方に働きかけて、認知の歪みを修正させる。
- 3 自己暗示をかけることにより、緊張を緩和させる。
- 4 自由に浮かぶ考えを検討して、無意識の葛藤を洞察させる。
- 5 病気や障害の正しい知識を伝え、諸課題への対処法を習得させる。

問題 9 次のうち、「改正精神保健福祉法」において、医療保護入院を行うために精神保健指定医1名の診察による判定とともに必要な要件として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 患者本人の同意
- 2 保護者の同意
- 3 精神保健福祉士の判定
- 4 もう1名の精神保健指定医の診察による判定
- 5 家族等のうちいずれかの者の同意

(注) 「改正精神保健福祉法」とは、2013年(平成25年)に改正された「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律」のことである。

問題 10 次のうち、精神科病院において、精神保健指定医の判断を必須とする事項として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 患者の身体拘束
- 2 医療保護入院患者の退院
- 3 身体合併症治療時の食事制限
- 4 任意入院患者に対する開放処遇の制限の開始
- 5 医療保護入院患者の12時間を超えない隔離